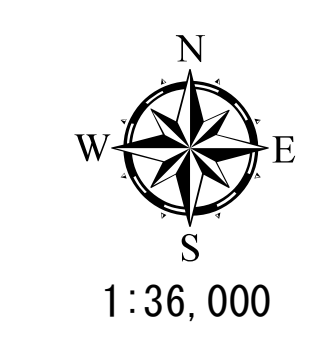
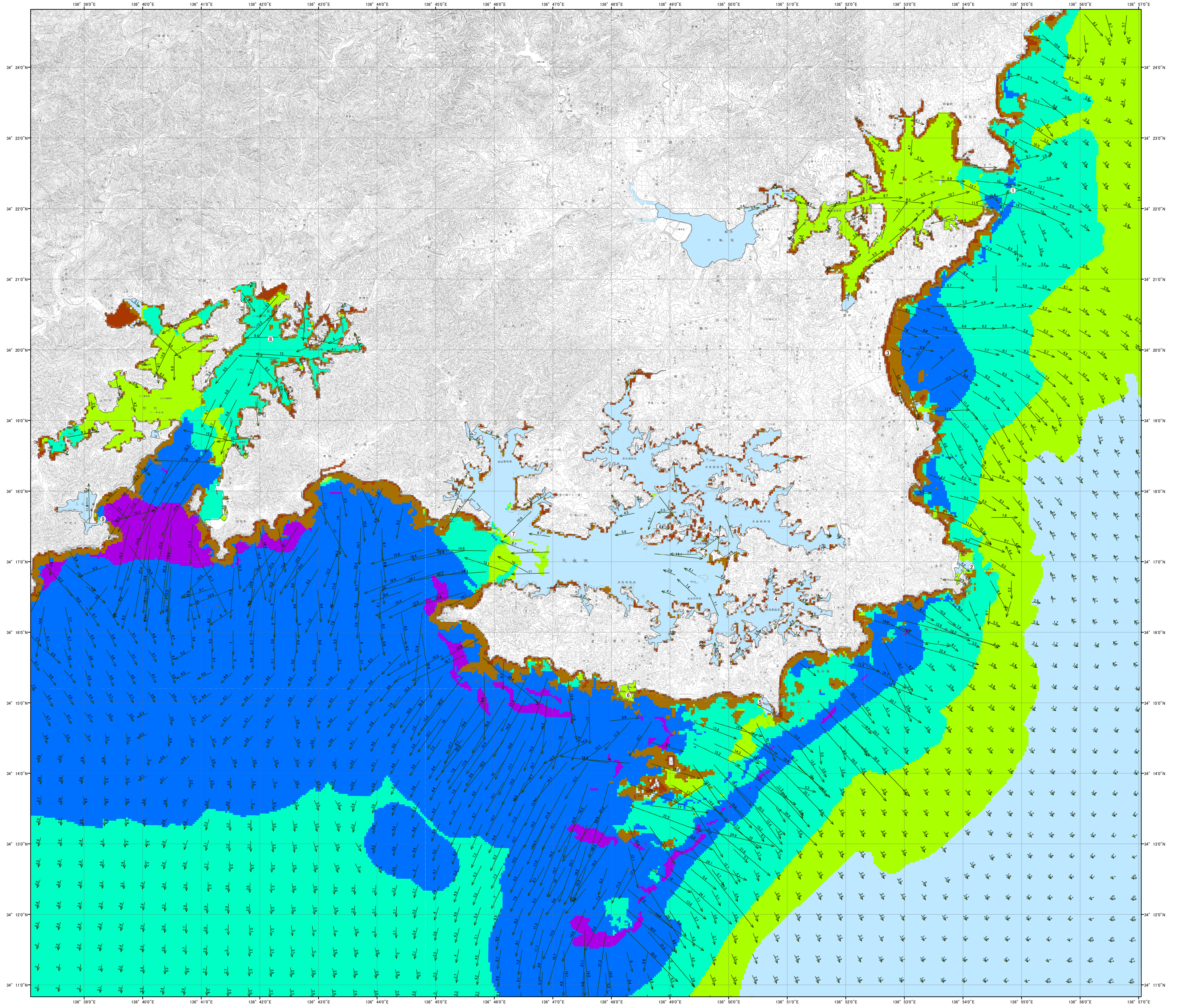


# 大王崎至五ヶ所湾 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件：最低水面（零位）  
 隆起量：平均 -41cm (-114cm ~ 160cm)  
 Zo：1.05m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



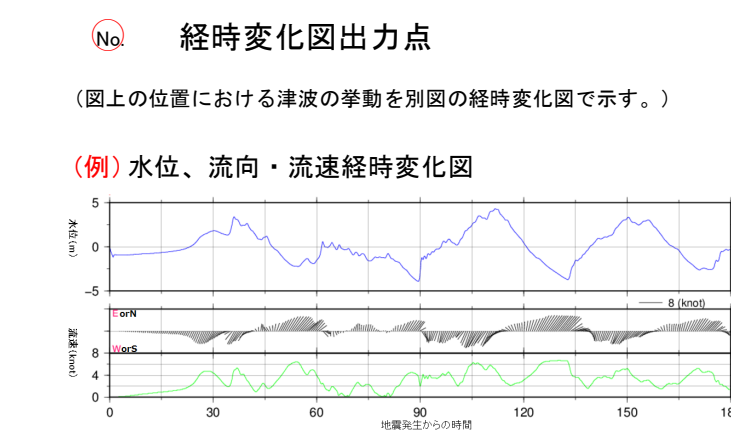
1:36,000

経緯系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

## 凡例

最大水位低下

- 10~最大18.9m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

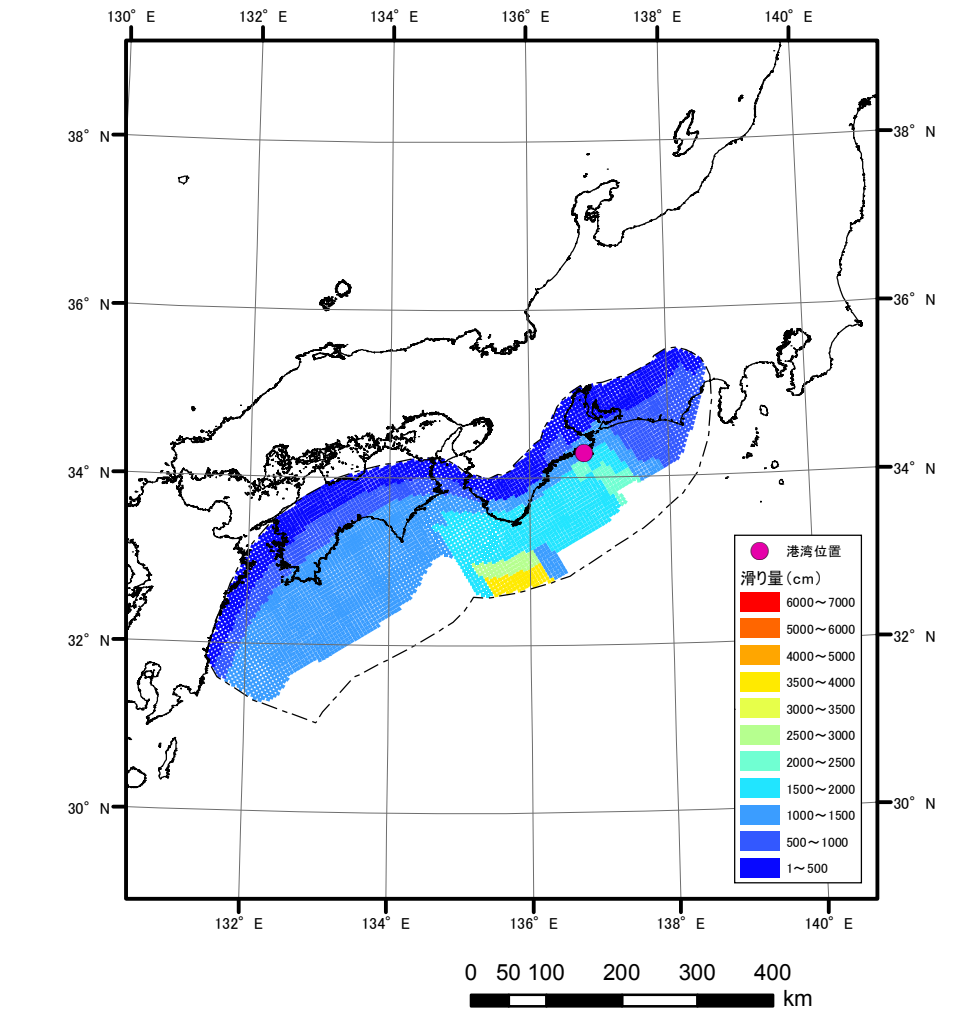


引潮時最大流 (knot)

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

## 断層モデル



ケース⑦「紀伊半島沖に『大すべり域+ (超すべり域、分岐断層)』」	
断層面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	5.3 × 10 <sup>22</sup>
平均すべり量 D (m)	8.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。  
 使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報ポータル (標高)・10mメッシュ (標高) 及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)  
 ・海岸における3D電子地図 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 国地応地第98号 平成24年3月21日)

